

# 二年生 国語

## 文法⑥

～活用のない自立語②～

準備するもの

- 文法ノート（学校で使っているテキスト）
- ノート（できれば文法用と授業用分けたほうがあとで見やすいですが一緒でもいいです。）



## 文法⑥

～活用のない自立語②～

2年生の学習内容を進めていきます。

練習問題をたくさん解きながら、  
理解していつてください。

では、学習をはじめていきます。

最後のページにノート用のスライドがあるので、ノート  
に書き写しましょう。

わからないときや書き  
写すときは一時停止ボ  
タンを押しましょう！





まずは復習からしていきましょう。

前回学習した名詞の種類を答えてください。

（普通名詞）

（固有名詞）

（数詞）

（形式名詞）

（代名詞）

）でしたね。

5種類ありましたが覚えていますか？

忘れてしまった人は、必ず復習しておきましょうね。

さて、今日は、活用のない自立語の名詞以外の品詞について学習していききたいと思います。

活用のない自立語で、名詞以外の品詞を4つ答えてください。

（連体詞）

（副詞）

（接続詞）

（感動詞）

）ですね。

今日は、このなかの「副詞」「連体詞」  
について学習していきましょう。



**副詞**・・・自立語で活用がなく、状態や程度などを表し、  
おもに用言を修飾する（連用修飾語になる）単語。

副詞の見分け方です。

A 「ごはんをゆっくり食べる」  
B 「今日はとても暑い」

副詞はどれでしょうか。

すぐにわかると思いますが、手順通りに確認していきましょう。

まずは、文節・単語に分けましょう！

それから、自立語と付属語に分けて、活用があるかないかを確認しよう！

A 「ごはんをゆっくり食べる」  
B 「今日はとても暑い」

文節・単語（自立語・付属語）の判断はもう大丈夫ですね。

活用を確認するには、単語の下に「ない」や「ば」をつけて確認するのでしたね。

「食べる」 ↓ 言い切りが「ウ段」 ↓ 動詞

「暑い」 ↓ 言い切りが「い」 ↓ 形容詞

動詞・形容詞・形容動詞3つ合わせて「用言」でしたね。

Aの文では、「食べる」という動詞（用言）にたいして、「どのように」を表わす「ゆっくり」が副詞です。

Bの文では、「暑い」という形容詞（用言）にたいして、「どのくらい」を表わす「とても」が副詞です。

副詞には、二つの種類があります。

① **状態の副詞** 主に動詞を修飾し、動作や作用がどんな状態（どのよう）かを表わしています。  
例 ゆっくり すぐに ずっと きらきら ワンワンなど

擬態語や擬声語も副詞になります。

② **程度の副詞** 主に形容詞・形容動詞を修飾し、その性質や状態がどの程度（どのくらい）かを表します。  
例 とても かなり ずいぶん ほとんど もっと など

テキストによって、呼応（こおう）の副詞や陳述（ちんじゅつ）の副詞と呼ばれるよ！

「もっと 右」  
「もっと ゆっくり」  
のように、名詞や副詞を修飾することもあるよ！

③ **叙述の副詞** 話し手や書き手の態度や気持ちを表し、決まった言い方を必要とする副詞です。

決して 悪口は 言わない (否定)

たぶん 明日は 晴れるだろう (推量)

なぜ 遅く なったのですか。 (疑問)

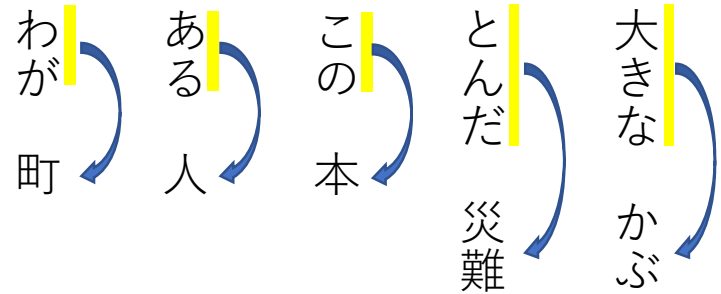
ぜひ 教えて ください。 (依頼)

「決して」という副詞がきたら、最後は「ない」という否定になります。

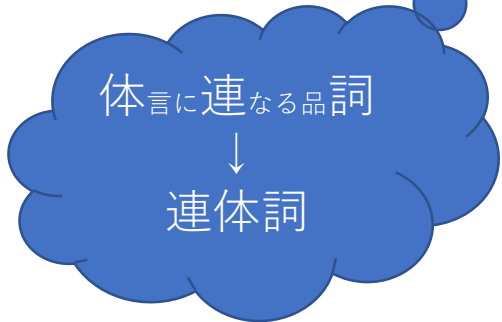


次は、連体詞です。

連体詞・・・自立語で活用がなく、体言だけを修飾  
(連体修飾語になる)する単語です。



後ろに必ず体言(名詞)があるね。



連体詞には次のような語があります。

「た (だ)」型	たいした とんだ
「な」型	大きな 小さな おかしな
「の」型	この その あの
「る」型	ある あらゆる
その他	わが



他の品詞とまぎらわしいもの！

大きい 小さい  
↓  
これは、形容詞！

きれいな 鮮やかな  
↓  
これは、「きれいだ」「鮮やかだ」という形容動詞！

これだから文法は・・・  
と思うかもしれませんが、  
覚えるしかありません！！

「な」を「だ」に  
置き換えられるか  
確認！

- 次のページのノートを写したら、  
文法ノートのP 58 ～ 60 をやりましょう。
- ① 上段の大事なところに線を引く
  - ② 下段の問題を解く



# 文法⑥

## 活用のない自立語②

### 副詞

・・・自立語で活用がなく、状態や程度などを表し、おもに用言を修飾する（連用修飾語になる）単語。

#### ①状態の副詞

主に動詞を修飾し、動作や作用がどんな

状態（どのよう）かを表わす。

例 ゆっくり すぐに そっと きらきら ワンワンなど

#### ②程度の副詞

主に形容詞・形容動詞を修飾し、その性質や

状態がどの程度（どのくらい）かを表わす。

例 とても かなり ずいぶん ほとんど もっと など

#### ③叙述の副詞

話し手や書き手の態度や気持ちを表し、

決まった言い方を必要とする副詞。

決して 悪口は 言わない (否定)

たぶん 明日は 晴れるだろう (推量)

なぜ 遅く なったのですか。 (疑問)

ぜひ 教えて ください。 (依頼)



**連体詞**

・・・自立語で活用がなく、体言だけを修飾  
(連体修飾語になる) する単語。

連体詞の種類

「た」	「な」	「の」	「る」	「が」
型	型	型	型	型
たいした	大きな	この	ある	わが
とんだ	おかしな	その	あらゆる	
		あの		



他の品詞とまぎらわしいもの！

大きい 小さい

↓  
形容詞

きれいな  
鮮やかな

↓  
「きれいだ」「鮮やかだ」  
という形容動詞

「大きな」「小さな」  
は連体詞！

「な」を「だ」に  
置き換えられるか  
確認！

